

ふくしきらり人。

きく ち み き
菊地 美姫さん

社会福祉法人関耀会
デイサービスセンター まごころの杜



今回ご紹介する「ふくし“きらり人。”」は、日々、利用者とのコミュニケーションを大切にデイサービスに従事している優しい笑顔が印象的な菊地さん。福祉の道に進んだきっかけや今後の目標についてお話を伺いました。

祖父母への想いから、福祉の道を決意——

福祉の仕事を志すことに決めた理由について、『社会福祉法人関耀会 デイサービスセンター まごころの杜』の菊地美姫さんは次のように当時を振り返ります。「私は幼いころから祖父母が大好きだったこともあり、お年寄りの方を見かけると、お手伝いや手助け

など、『なにかしてあげたい』という気持ちになることが多くありました。高校3年生のとき、担任の先生や友人に今後の進路について相談したところ、周りの方から、『お年寄りの方へのそうした気持ちを福祉の仕事として、活かしてみたらどうか?』といわれたことがきっかけで、福祉の道に進もうと決しました」(菊地さん)

高校卒業後は、老健施設に就職、美容業界に転職したのち、福祉の仕事に復帰。現在の『まごころの杜』で働くことになったそうです。

「一度、福祉から離れたことで、『福祉の仕事の素晴らしさ』について改めて考えさせられました。毎日、利用者と一緒に楽しい時間を共有できることはもち

感謝の言葉で心が満たされる

ろん、福祉の仕事を通してこれからの自分の成長にもつながると思い、再び福祉の仕事に戻ろうと思いました」(菊地さん)

利用者第一に考え、勉強の毎日!——

現在は、スタッフ5名で約20人の利用者を支援しています。送迎はもちろん、施設では血压等のバイタルのチェック、入浴介助、制作活動・体操、昼食介助、レクリエーションなど、さまざまな仕事を行っている菊地さん。仕事をする上で、「目配りや気配り」を大切にしているといいます。

「基本的なことですが、デイサービスという仕事上、送迎で車の運転を行う際には、乗車している利用者が不安にならないように、細心の注意を払っています。また、利用者と同じ目線の高さでお話やコミュニケーションを図るように心がけています」(菊地さん)

とはいえ、福祉の仕事は勉強の毎日で、ときには先輩スタッフの方からアドバイスもいただくこともあるそうです。

「利用者の表情や言動などの些細な変化に気づけるように注意していますが、それだけではなく利用者が『本当はいま何を思っているのか? 気持ちの奥底の部分までを理解しようとするのが大切だよ』というアドバイスをいただきました。利用者と共に笑い合ったり、ときには悩みを相談し合ったり、沢山コミュニケーションを図ることで、お互いの理解が深まり、信頼関係が構築されていくことの重要性に改めて考えさせられました」(菊地さん)

それ以外にも、「目の前の利用者と会話をしているときでも、背後の利用者にも気を配れるような広い視野を持つこと」「何事も利用者第一に考えて行動すること」など、仕事をしながら多くのことを学んでいるといいます。

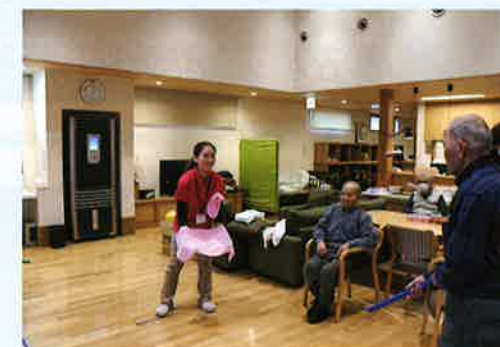
働きながら“福祉のやりがい”を実感——

「たとえば、入浴後に『気持ちよかった』『さっぱりした! ありがとう』など、笑顔で感謝の言葉をかけていただいたときは本当に嬉しく心が満たされますし、ときには利用者が楽しそうに体操している姿をみるだけでも私まで自然と笑顔になります! 今後は現状に満足するのではなく、さらにより良い支援ができるように、介護福祉士の資格取得や認知症について深く勉強し、仕事に活かしていきたいと思っています!」(菊地さん)

最後に、これから福祉の道に進もうと考えている方にメッセージを頂きました。

「福祉は人と人との仕事です。御世話をするのが好き、人と接するのが好き、誰かの為に動きたいなど、もし、少しでも福祉の仕事に興味をもたれているのであれば、まずは行動してみることが大切なのではないでしょうか。きっと皆さんのご家族やご自身の将来に役立つと思いますよ」(菊地さん)

“きらり”と輝く笑顔で利用者と寄り添っている姿が印象的な菊地さん。利用者やスタッフの方からの人望も厚く、その素直な気持ちと行動力で、今後のますますの活躍が期待されています。



利用者と楽しくレクリエーション♪



利用者と笑顔溢れる毎日!



会話をするときには「目線」を意識!